



草と草の根の連帯をあらわす  
草の家のシンボルマーク

〒780-0861 高知市升形 9-11 Tel 088-875-1275 Fax 088-821-0586  
E-mail: GRH@ma1.seikyō.ne.jp http://ha1.seikyō.ne.jp/home/Shigeo.Nishimori

## 韓国へ金英丸を訪ねる

館長 岡村 正弘

「草の家」一行五名が5月22日から三泊四日で訪韓しました。



23日は水曜日で日本大使館前にたくさんの人が集まっています。「従軍慰安婦」が日本政府に謝罪と賠償を求めて水曜デモを行っているところでした。大使館の門前には、投石を防ぐ金網をつけた三台の大型バスが停車し、

完全装備のいかにも若い韓国の警備員がずらっと立っていました。「あれは徴兵された青年です」と金英丸が説明してくれました。道路の対面には、数名のハルモニを中心に200人程が陣取り、次からつぎへと発言者が前に出て大声で訴えていました。アベ、安倍というのが解るだけでしたが、ところどころで、拳を振り上げシュプレヒコールをするので、私も大声でなにやら発生しながら拳をあげました。韓国人以上でなく、共和国の人、中国、フィリピン、インド、日本と国際色豊かでした。安倍内閣の反動化を強く感じました。

24日、西大門刑務所歴史観を訪問しました。ここは韓国政府から史跡に指定されている。朝鮮の独立の為に、大日本帝国の侵略に立ち向かい戦った末に投獄され、ひどい拷問と弾圧を受けて殉国した愛国者たちの魂を慰め、子孫たちに朝鮮民族の自主独立の精神を育む、生きた歴史教育の場とするため、1995年に改築、開館した。私は三度目の訪問で、花束を用意し、「献花したい」と金英丸に電話で申し入れてもらった。私たち一行が着くと1500ウォンの入場料がいるのに無料でどうぞと丁寧に迎えてくれた。私は花束と小冊子『不屈に生きた土佐の同志』を渡した。この本は、治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟と「草の家」が発行したもので、大日本帝国の軍隊が朝鮮、中国に侵略するのに反対し、投獄され、ひどい拷問と弾圧を受けた高知県人のことを書いた本ですと説明しました。日本語の話せる案内人が大変張り切って館内を説明してくれました。しばらく行くと追

悼碑の前に着きました。殉国した人の名前が記された大きな碑の前には、赤い絨毯が敷かれ、花束が置かれていました。私が代表して線香をあげ、一行が私にあわせて黙祷しました。私たちのために赤い絨毯をしいてくれたのです。

見学が終わりお礼を述べて帰ろうとした時、案内してくれた人が記念写真を撮ろうと言い、玄関で館の職員も入り仲良く写真を撮りました。案内人が記念になるから写真を送ってほしいといいます、私は快く承諾し、握手して館を後にしました。

韓国では、小学生、中学生が歴史教育の大切な場として活用しています。日本の歴史教育との大きな落差を感じました。

今回の訪韓は、市民レベルでの平和・友好の交流として有意義なものとなりました。

金英丸と3日間行動を共にして満足できる韓国の旅でした。